



話すことのすめは、まずしゃべることから始めよと、そのかしたい。
古来日本人は、沈黙は金なりと教えられて来た。反対に沈黙は一種のサボタージュではないかとときめつけたり、あなたのこ見解は？不言実行それはいいだろう。でも有言実行なら更によいではないか。
雄子も鳴かずば射たれまい。
雄子は射たいたいの為に鳴くのではない射ち手こそ罪と罰。
黙ってこれとおつしやりたいんですか、笑しかるべき御飯どきでもしやべつちやいけませんか、だからもう日本人は話すことが下手なのです。しゃべることを罪悪視し封じこめてますもんね。
話題や噂もあるのに、許し難い不正義を見たのに、いささかの不満もあろうに、堂々たる論調にこそならぬが、世に訴えたいことが山ほど海ほどある。それらの

あれこれを、仲のよい友達つかまえ、ジャカスカしやべつてみなさい。話すことが苦手なお方は、この多弁のトレーニングに挑戦なさればいいのです。
しゃべつちよ三人男の異名をとった仲よしがいる。スタはその中の一人なのだ、会合の度に必ずしゃべる。自己陶酔にかかつてしゃべりまくる、会議が長びく、いい加減にせいと悪しざまに非難される。
困惑顔の座長は「以後三人ががたまつて座布団を隣りすることを禁ず」と禁治産者なみの宣告をする。
われら仲良し三人組、ピールの円卓を囲み、禁じられたおしゃべりを遠慮なく復活させて、そんならばキヤンデーズ並みに、しゃべり集団の解散を相談する。しゃべつたおかげで得たものナニニ、Yは赤面派から、Hはひっこみじあん党から、スタは躊躇逡巡の烙印者から脱出した。話すことにおじけつたなくなつたもんな、とニコリする。かくて、話すことは先ずしゃべることから始めよ。と

しゃべることのすめ

「田家の新茶飲みにいられ、またまた乾盃しよう」とビールを追加する。
「田家の新茶飲みにいられ、またまた乾盃しよう」と電話が来た。少し待つてと申し、すばやく郷里、北限の村上茶の資料と、父が愛用した佐渡の象堂の茶碗を箱に入れて訪問すればいい。
茶の相手はあなたのおしやべりに「そうなの」と合の手を打つこと必定です。いつの間にかしゃべるが話すにかわつていけるはず。
ゲームを一つ、五十六人の会合があつたら紙切れで各自一つだけ事柄を書く、橋、駅、あざみ、川等々を、そしてみな三分の持ち時間でしゃべりあう。
「私、川を遡るつてことば好きよ。どれに川つてもうして、どの川もこの川も海に向つて一途に流れねばならぬのかしら、上越のトンネルを抜ける川がさかさまに流れるでしう好きだわ」等々、ここまでくればおしゃべりは妙味をもつてくる。わかるでしう。ここまで言えよ。
(須田英夫)

国民年金 支給額を引上げ 未納者に特例納付制度も

国民年金法の改正によつて今年度の七月から、拠出制年金（老齢や通算老齢をはじめ、障害・母子・準母子・遺児・寡婦の各年金）の支給額が、六・七％引上げられます。これは、昭和五十二年度の全国消費者物価指数が六・七％上昇したことにによるものです。
また年金額が物価スライドしたことに伴い、保険料額も来年の四月から、一か月三千三百円に引上げられます。
一方、福祉年金（老齢や障害・母子・準母子の各年金）は一〇％を超える引上げ幅になっていますが、この引上げは今年の八月から実施です。
また今回の法律改正では、今年の七月から二年間「特例納付期間」を設けることもきめられました。これは、保険料の未納期間があるため、将来、老齢年金を受けられない人たを救済するためです。
この特例納付は昭和四十五年、四十九年に続いて三回目ですが、今回が最後の機会です。保険料の未納期間がある人は、この機会を利用してぜひ納めましょう。
なおこの特例保険料は一か月に四千円。納めることのできる人は、明治四十四年四月二日以降に生まれた強制加入者だけとなります。



イザというときに備えて
6月4日、一小で消防団のポンプ操法競技大会が行われ、市内各地区2分団10チームが、日頃きたえた技を競い合いました。結果は次のとおりです。1位…東金沢、2位…川口、3位…覚路津

お買物、ご用命は市内で

1本の電話で最高4台まで使える

ホームテレホン

外からの電話は「ロンロン」、ご家族どうしは「ピン・ポーン」。

新津電報電話局 (お申込は 4-1000へ)

